



## 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響」に関する留学生アンケート調査結果

～経済的困窮者が75%、定額給付金以外の支援なし94%～

「公益財団法人かながわ国際交流財団」は、神奈川県内在住・在学の外国人留学生を対象に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について WEB アンケート調査を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

### ■調査結果概要

調査からわかった主なことは、次のとおりです。なお、詳細は別紙のとおりです。

75%が経済的に困窮している

94%が国の定額給付金以外の支援は受けていない

63%がアルバイトへの影響を受けている

半数が帰国を希望しても実現できなかった

93%が勉強や将来などの心配事を抱えている

「学びの継続給付金\*」の情報が4人に1人に届いていない

給付金に留学生だけ厳しい成績条件があるのは「明らかな差別」33%

\*文部科学省が経済的に困難な状況に陥っている家庭から自立した学生が、学びを継続できるよう実施された「学生支援緊急給付金給付事業」

本調査結果は下記の URL から電子版がダウンロードできます。

アンケート調査結果 URL [http://www.kifjp.org/tabunka/corona\\_survey](http://www.kifjp.org/tabunka/corona_survey)

### ■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人かながわ国際交流財団

グローバル人材育成グループ

グループリーダー：山内 / 担当：ジギャン

TEL. 045-620-0011 / FAX. 045-620-0025 / Email. [globalg@kifjp.org](mailto:globalg@kifjp.org)



<別紙>

## 神奈川県内在籍留学生対象

### 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響」に関する留学生アンケート調査結果

#### ■ 調査概要

- ◇ 調査対象：神奈川県内在住・在学の外国人留学生
- ◇ 調査期間：2020年7月1日から7月28日まで
- ◇ 調査方法：Web アンケート
- ◇ 使用言語：やさしい日本語（平易でわかりやすく工夫した日本語のこと）
- ◇ 有効回答数：237件
- ◇ 調査主体：公益財団法人かながわ国際交流財団

横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター13階

多言語支援センターかながわ内 電話 045-620-0011

財団 URL：<http://www.kifjp.org/>

#### ■ はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大は外国人留学生にも大きな影響を与えている。そこで、緊急事態宣言による休業などの措置が、アルバイトをしながら生活をする留学生にどのような状況を招いているか、さらに定額給付金をはじめとする様々な支援は、適切に届いたかどうか等について、留学生の状況を広く知ってもらうことを目的にアンケート調査を実施した。

#### ■ 調査結果からわかったこと

新型コロナウイルスの影響で、回答した留学生のうち75%が経済的に困窮しているとした。また、94%が国の定額給付金以外の支援は受けていないことがわかった。アルバイトへの影響を受けた留学生も63%いた。

回答者の半数が、帰国を希望しても実現できなかった（感染拡大防止のための各国のロックダウン措置やそれに伴う国際線運航停止などが原因と考えられる）。また、日本の水際対策の一環で入国拒否の対象になった国々の留学生が再入国できない事例もこの間大きく報道されたが、この調査でも5%の留学生が日本に戻れなかったことが分かった。

文部科学省が開始した「学生支援緊急給付金給付事業」（学びの継続支援）の情報が4人に1人に届いていないことも分かった。留学生も含め経済的に困難な状況に陥っている家庭から自立した学生が、学びを継続できるよう実施された事業だが、留学生にだけ出席率や前年度の成績評価等の条件をつけ、公平

を欠くと社会的に注目を集めた。これに対し、明らかな差別と思っている留学生が 33%いることが分かった。

また 93%の留学生が勉強や自分の将来など何らかの心配事を抱えており、85%が中長期的なキャリアにコロナが何らかの影響を与えたとしている。

#### ■ 回答者の属性

1. 調査に参加した者のうち、男性 38% 女性 60%、無回答 2%だった。
2. 国籍別には、中国 61%、台湾 11%、ベトナム 9%、韓国 7%、ネパール 4%、香港 2%、その他 6%（インドネシア、オーストリア、スリランカ、ペルー、マカオ、マレーシア、ミャンマー）
3. 滞日年数は、1 年未満が 10%、1 年から 2 年 21%、2 年から 3 年 22%、3 年から 4 年 23%、4 年から 5 年 12%、5 年以上が 12%を占める。
4. 在籍教育機関は、大学 70%、大学院 13%、専修学校 8%、日本語学校 8%、その他の教育機関 1%

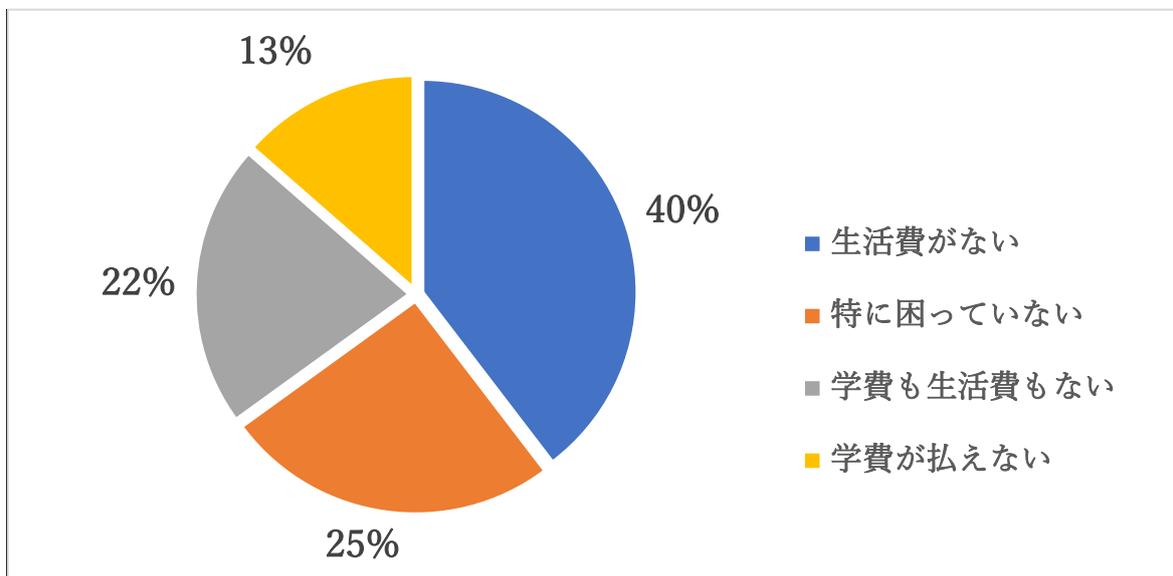
## ■ 調査結果

※留学生のコメントは原文のまま

### 1. 経済的困窮について

- ◇ 生活費がない 40%
- ◇ 特に困っていない 25%
- ◇ 学費も生活費もない 22%
- ◇ 学費が払えない 13%

※経済的に困窮している学生 75%



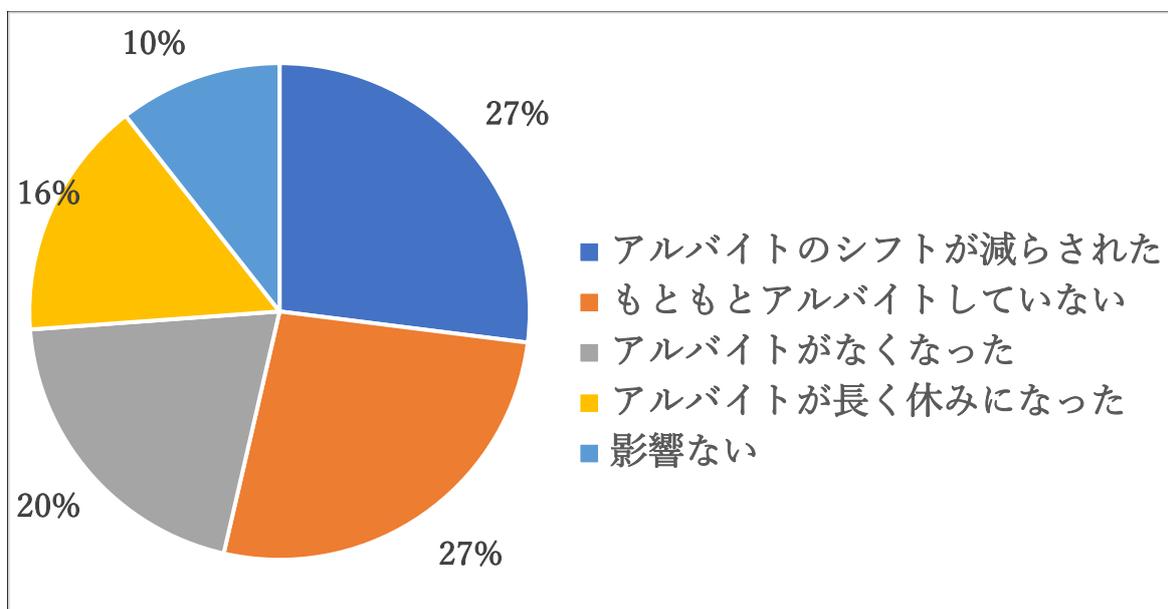
主な意見：

1. 学費が多額で、母の仕事もなくなった、大変です。
2. 学費と生活費のために、続けて支援することをもらいたい。
3. 少しだけでも、学費や生活費の支援が欲しいです。そして、出かける時マスクの着用をしていない人を結構見ましたが、皆さんは出来るだけマスクの着用をして欲しいです。
4. 人は日本にいませんが、家賃をずっと払っています。とても高いです。

## 2. コロナによるアルバイトへの影響

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ◇ アルバイトのシフトが減らされた | 27% |
| ◇ もともとアルバイトしていない  | 27% |
| ◇ アルバイトがなくなった     | 20% |
| ◇ アルバイトが長く休みになった  | 16% |
| ◇ 影響ない            | 10% |

※コロナによるアルバイトへの影響を受けた留学生が63%いる。一方で、普段から仕送りなどで、日本でアルバイトしていない留学生も27%いることが分かった



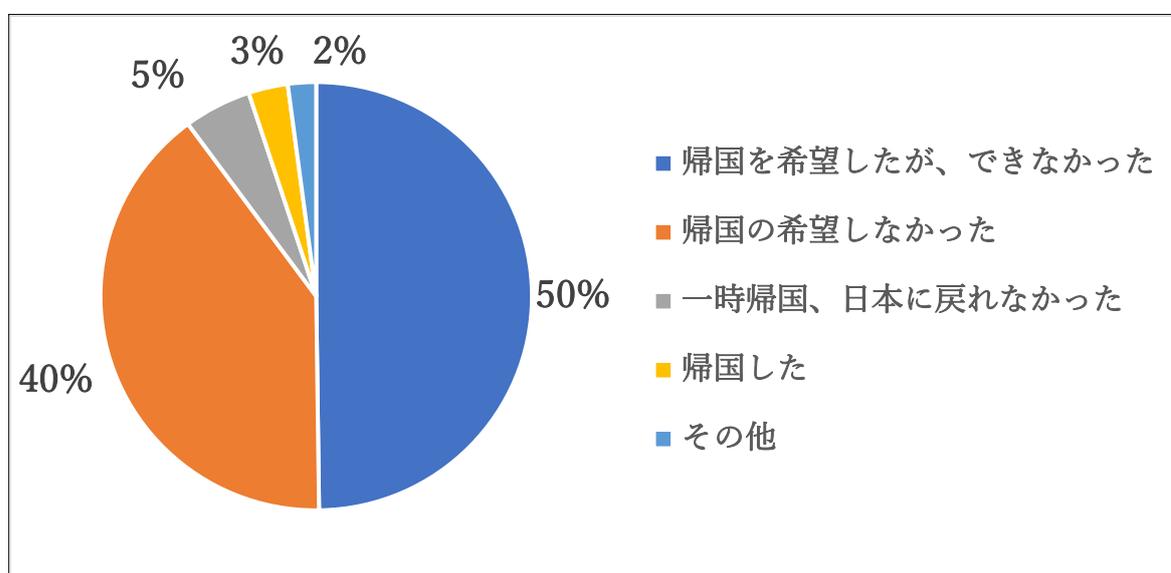
主な意見：

1. コロナが怖いのですが、新しいアルバイトを増やさなければなりません。
2. コロナの影響で、家族からもらったお金が少なくなって、アルバイトのシフトも減らされて、生活は少し困難になります。

### 3. 帰国について

|                    |     |
|--------------------|-----|
| ◇ 帰国を希望したが、できなかった  | 50% |
| ◇ 帰国の希望しなかった       | 40% |
| ◇ 一時帰国中、日本に戻れなくなった | 5%  |
| ◇ 帰国した             | 3%  |
| ◇ その他              | 2%  |

※回答者の半数は帰国を希望しても、実現できなかったことが分かった（感染拡大防止のための各国のロックダウン措置やそれに伴う国際線運航停止などが原因と推測される）。一方で帰国した人のうち日本の水際対策の一環で入国拒否の対象になった国々の留学生が再入国できない事例もこの間大きく報道されたが、調査でも5%の留学生が日本に戻れなかったという



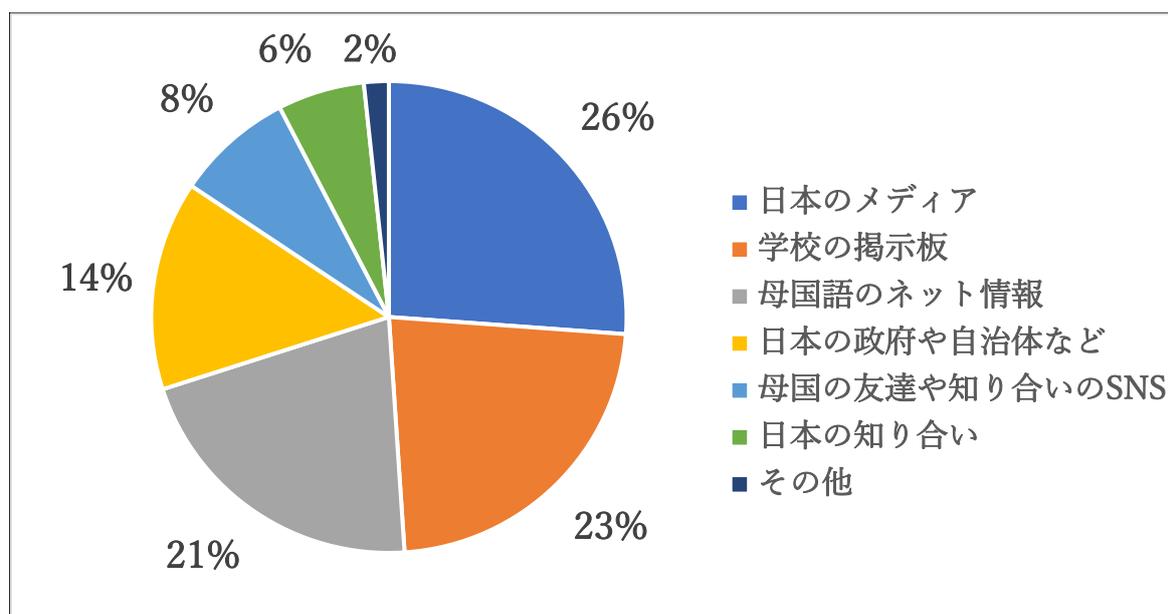
#### 主な意見：

1. 一時帰国したかったが、帰れなかった。
2. ニュージーランドに滞在させられました。
3. 帰国したいですが、オンライン授業が不便になりそうなので、帰らなかった。
4. 休みの時に帰国するつもりでしたが、今の状況では帰れないはずです。
5. 九月に帰国したいですが飛行機のチケットが買えない。コロナのせいでチケットの値段がすごく高い。
6. コロナウィルスのせいで日本に戻る（ことが）できてない外国人留学性に、日本に戻ったら学費、生活費などに応援すればよくなりますと思います。
7. 台湾に帰りたいです。
8. 日本には戻れないことすごい心配です。

#### 4. 生活情報の入手方法

|                   |     |
|-------------------|-----|
| ◇ 日本のメディア         | 26% |
| ◇ 学校の掲示板          | 23% |
| ◇ 母国語のネット情報       | 21% |
| ◇ 日本の政府や自治体など     | 14% |
| ◇ 母国の友達や知り合いの SNS | 8%  |
| ◇ 日本の知り合い         | 6%  |
| ◇ その他             | 2%  |

※日本のメディアの情報を得ている割合がもっとも多いのは、回答者の属性が大学・大学院の特に漢字圏（中国出身）の留学生が多いからと推測される。母国語のネット情報や SNS などの存在も来日年数が浅く日本語学習中の留学生にとっては重要な情報源になっていることが分かる。また、学校の掲示板から情報を得ている割合が多いが、今回のように学校が閉鎖してしまう状況では留学生の情報取得が混乱したり、制限されることが推察される



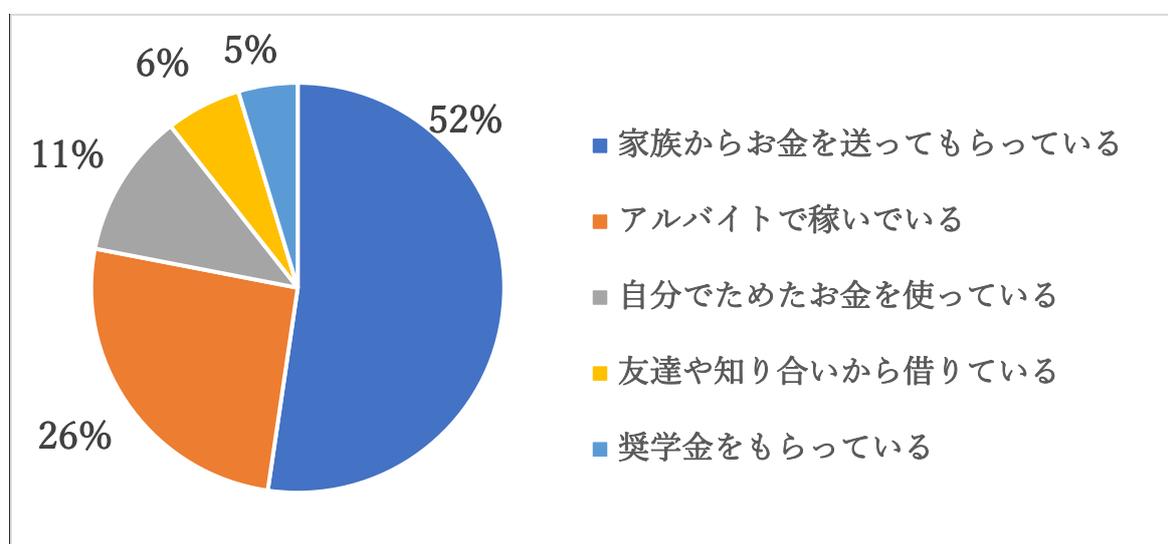
#### 主な意見：

1. 家族の重い負担になった自分はアルバイトで努力したくても、今の状況だと厳しいです。また、学校や文部省の学び続ける支援行動についての情報が知るのが遅くて問題だし、自分もよく学校のホームページチェックしない方なので、今の生活でなかなか大変だと思います。

## 5. 生活費について

|                    |     |
|--------------------|-----|
| ◇ 家族からお金を送ってもらっている | 52% |
| ◇ アルバイトで稼いでいる      | 26% |
| ◇ 自分でためたお金を使っている   | 11% |
| ◇ 友達や知り合いから借りている   | 6%  |
| ◇ 奨学金をもらっている       | 5%  |

※生活費に関しては半分以上の留学生在が家族からの仕送りで賄っていると回答している。留学生在は在留の目的はあくまで「留学」であり、資格外活動許可を得てアルバイトをできる時間が制限されている。帰国ができない一方、制限を超えたアルバイトが在留資格取得・延長に悪影響を及ぼすことを恐れて、「家族からの仕送り」を選択する留学生在もいるのではないかと推察する



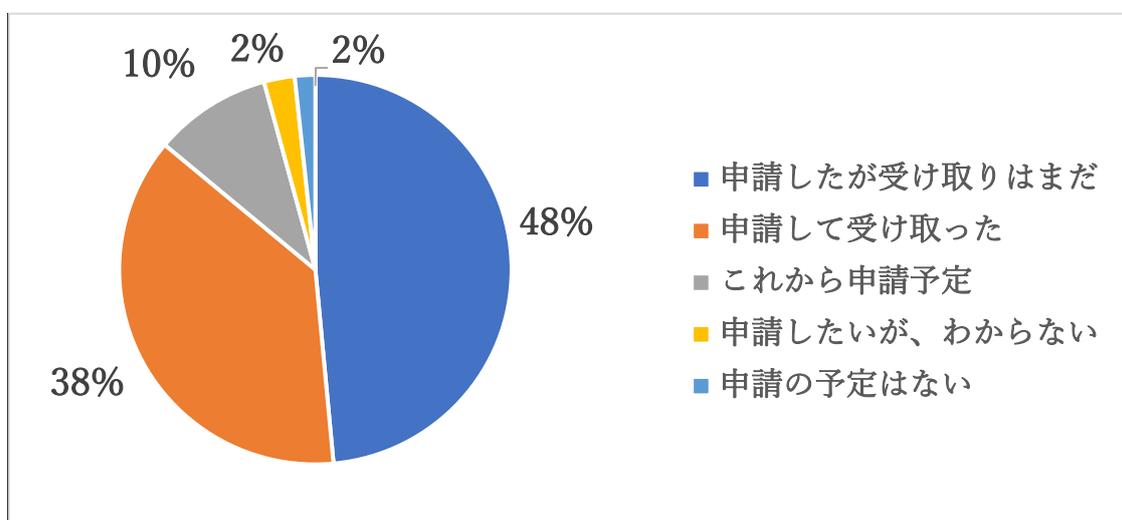
主な意見：

1. 実習が入っていて実習中はアルバイトが禁止なので生活に困っている。
2. 生活費が少ない。
3. 生活費と学費のこと心配です。
4. 生活費のが難しい。

## 6. 国の定額給付金 10 万円について

|                |     |             |
|----------------|-----|-------------|
| ◇ 申請したが受け取りはまだ | 48% | ※調査時点：7月28日 |
| ◇ 申請して受け取った    | 38% |             |
| ◇ これから申請予定     | 10% |             |
| ◇ 申請したいが、わからない | 2%  |             |
| ◇ 申請の予定はない     | 2%  |             |

※殆どの留学生は国の定額交付金を受け取ったか、これから受け取り予定であることが分かったが（7月28日時点の状況）、2%の留学生が「申請したいが、わからない」という回答をしている。作成された多言語情報が、必要な人に届いていない状況が考えられる



主な意見：

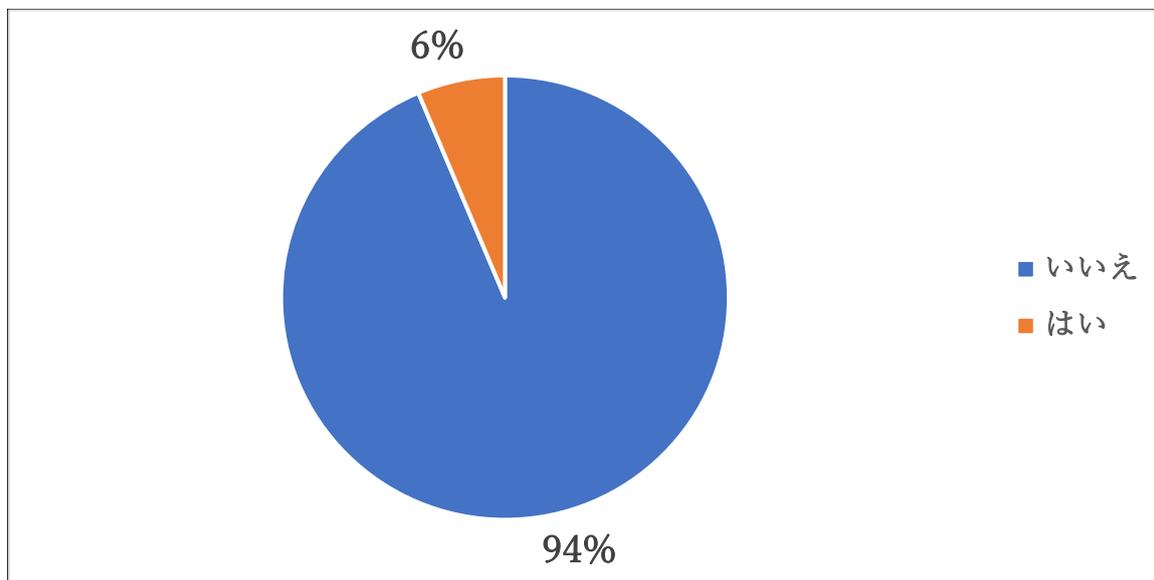
1. お金が足りない、政府から給付金制度があっても、もらえない。
2. 給付金まだのことです。

## 7. 自治体やボランティア団体から、生活支援はありましたか？

◇ いいえ 94%

◇ はい 6%

※今回の調査では、回答者の圧倒的多数が定額給付金以外の支援はなかったとしている



主な意見：

1. すごく心配なので、助けをもらいたいです。
2. 政府からは留学生たちにもっと手伝ってほしいです。

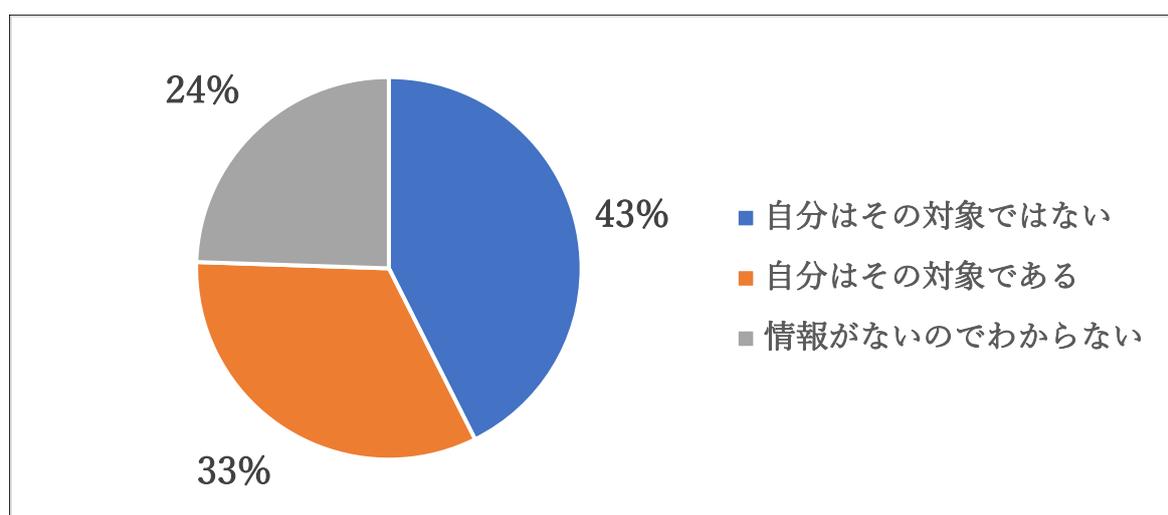
## 8. 「はい」と答えたわずか6%の留学生がもらった支援の内訳

| どこから、        | 何をもらいましたか？           |
|--------------|----------------------|
| 横須賀市役所       | 1週間分の食料、3日間分の食料など    |
| 厚木市          | 5万円                  |
| 金沢区社会福祉協議会   | 1週間分の食料（米、缶詰、ジュースなど） |
| 相模原青少年学習センター | 食べ物:3日分              |
| 相模原野菜生産倶楽部   | 食べ物                  |
| 大学           | 3万円                  |
| 大学生緊急奨学金     | 10万円                 |
| 学校           | 2万円及びお米5KG           |

## 9. 学びの継続給付金\*（「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』）について

- ◇ 自分はその対象ではない 43%
- ◇ 自分はその対象である 33%
- ◇ 情報がないのでわからない 24%

※学びの継続支援の情報が4人に1人に届いていないことが分かった

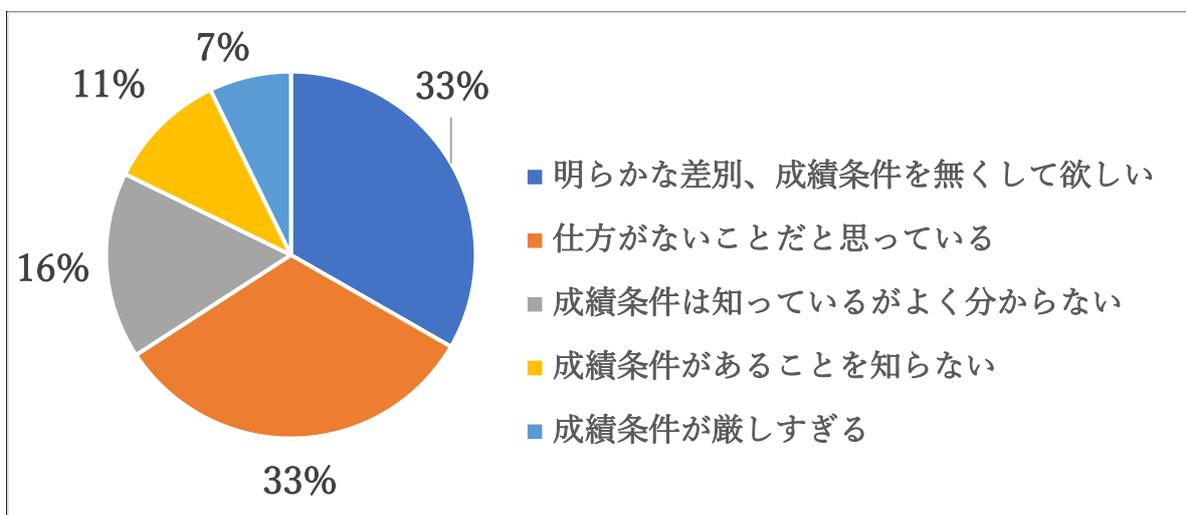


\*文部科学省が経済的に困難な状況に陥っている家庭から自立した学生が、学びを継続できるよう実施された「学生支援緊急給付金給付事業」

## 10. 学びの継続給付金制度で、留学生にだけ成績条件\*を付けたことについて

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| ◇ 明らかな差別、成績条件を無くして欲しい | 33% |
| ◇ 仕方がないことだと思っている      | 33% |
| ◇ 成績条件は知っているがよく分からない  | 16% |
| ◇ 成績条件があることを知らない      | 11% |
| ◇ 成績条件が厳しすぎる          | 7%  |

※留学生にだけ出席率や前年度の成績評価等の条件を付けたことについては、公平を欠くと社会的な注目度も高かったが、仕方がないことだと思っ学生もいる一方で、明らかな差別と思っている留学生が 33%いることが分かった



主な意見：

1. 現在コロナの影響でみんな大変の中日本政府はわざわざ日本に自分の明るい将来の夢を持って来た外国人に差別しないで欲しいです。

\*文部科学省のHPの「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』に関するQ&A (p.2 Q2-0-2) で確認すると、留学生にだけ課している条件は以下の通りです。

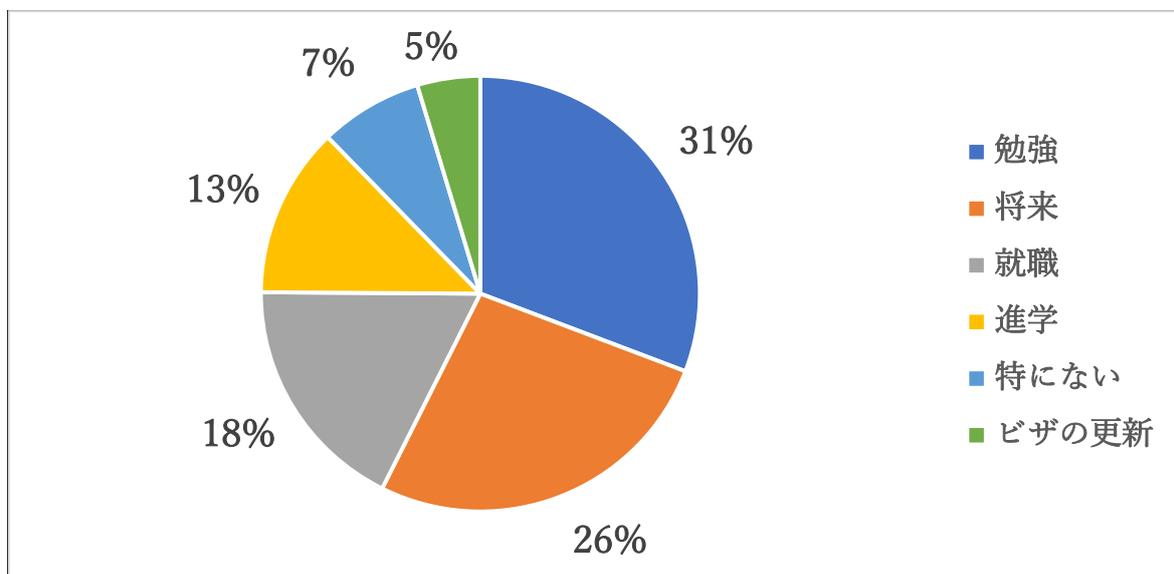
- 1) 学業成績が優秀なものであること。具体的には、前年度の成績評価係数が 2.30 以上であること
- 2) 1 か月の出席率が 8 割以上であること
- 3) 仕送りが平均月額 90,000 円以下であること (入学科・授業料等は含まない)
- 4) 在日している扶養者の年収が 5 0 0 万円未満であること

一方で、日本人学生には「修学支援新制度」や「第一種奨学金 (無利子奨学金)」といった「既存の支援制度」を利用する必要があることを課していますが、「民間等を含め申請可能な支援制度の利用を予定している者」までが含まれているため、上記 1) の成績評価係数などの条件があるとは限りません。

## 11. 今一番心配していること

|         |     |
|---------|-----|
| ◇ 勉強    | 31% |
| ◇ 将来    | 26% |
| ◇ 就職    | 18% |
| ◇ 進学    | 13% |
| ◇ 特にない  | 7%  |
| ◇ ビザの更新 | 5%  |

※93%の留学生が勉強や将来など何らかの心配事を抱えながら暮らしていることが分かった



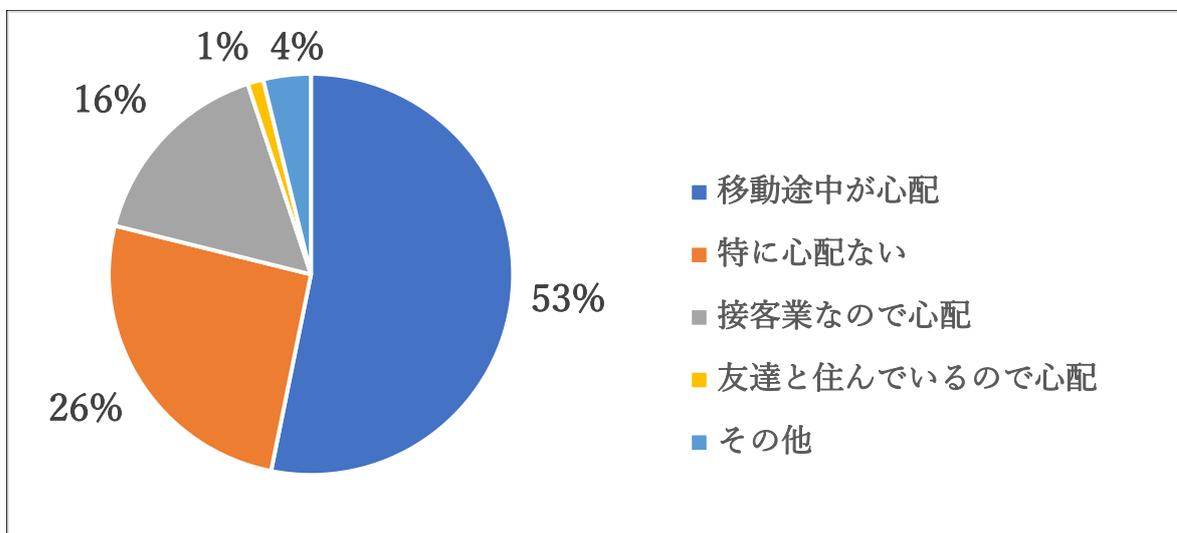
主な意見：

1. 後期の学費について。
2. 今、コロナの第2波を心配しているんです。毎日、学校とアルバイトから人にたくさん会います。とても不安です。
3. 私 2021 専門学校卒業見込みなんですけど、日本で就職してもっと住みたいですが、去年より就職するところが減ってると思います。もし日本に就職できなくなった場合にはどうなるか、自分が持っていった夢がなくなってしまったら、何をすればいいのか考えられません。
4. 新型コロナウイルスの影響で来年就職する時大変になるかどうかちょっと知りたいです。
5. 毎日、就業や経済問題に心配し、眠れないの程度だ、未来はもっと渺茫に感じます。

## 12. コロナ感染の心配

|                |     |
|----------------|-----|
| ◇ 移動途中が心配      | 53% |
| ◇ 特に心配ない       | 26% |
| ◇ 接客業なので心配     | 16% |
| ◇ 友達と住んでいるので心配 | 1%  |
| ◇ その他          | 4%  |

※諸外国のような強制力のあるロックダウンがなかったことへの留学生の不安は随所で報告されていたが、調査でも半数以上の留学生がコロナ感染について「移動途中が心配」と感じていることが分かった



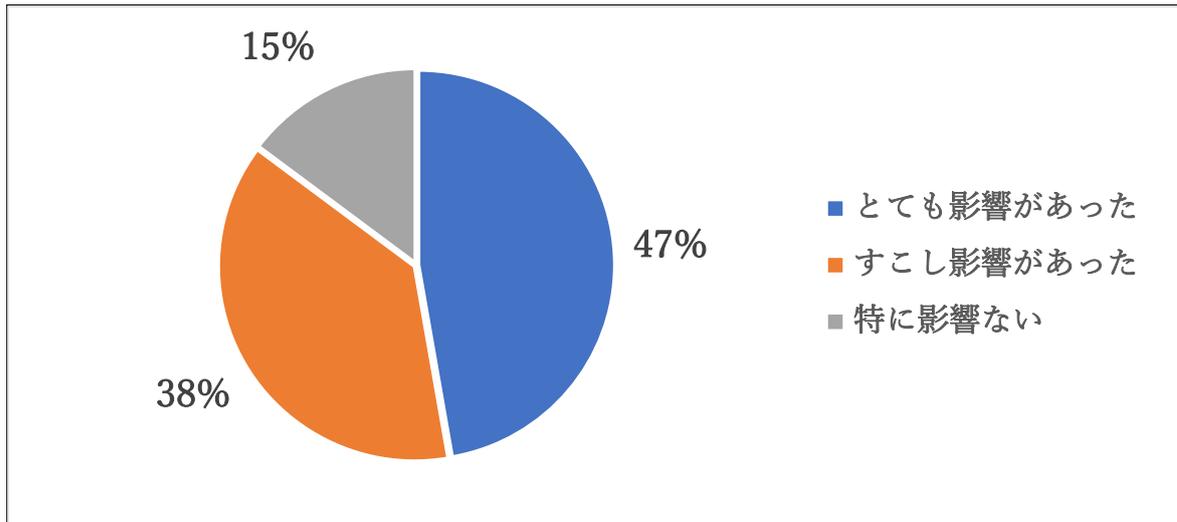
主な意見：

1. コロナの影響でこれからどういう風に行動すれば良いのか迷ってます。
2. コロナまだ続いていると思いますので、皆も気を付けて、健康的に生きてください。
3. 怖いので、人少しのところでの授業したい。

### 13. コロナが中長期的なキャリアに与えた影響

- ◇ とても影響があった 47%
- ◇ すこし影響があった 38%
- ◇ 特に影響ない 15%

※進学や就職など留学生在が日本での所定の学業期間終了後に思い描いたキャリアに何らかの影響を与えたと感じている人が85%いたことが分かった



主な意見：

1. 頑張っって専門学校の授業を勉強して日本で仕事をしたい。
2. 学校の授業やインターンシップも影響を受けて、ようやく海外で進学した留學生に対してあまりにもつらいです。

### 14. その他の意見

1. すでに学費などでお金についてすごく困っている状態なのに、多額な国民健康保険料を要求されています。市役所に相談しましたが、学生であることやコロナの影響の配慮がなく、分割の形で支払わなければならないです。役所の冷たさに絶望しました。
2. 心も体も疲れています。
3. 緊急事態宣言や、自粛要請などではなく、強制力の手段があるだと思ふ。今のままではマスクしてない人がたくさんいる、コロナを意識してない人がたくさんいる。

#### ◆参考資料

学校別留學生数(令和元年度神奈川県内大学等在籍留學生調査結果より抜粋)(神奈川県国際課)